

令和5年度第3学年 学年通信 第8号 大学入学共通テストまであと30日!

【再掲】大学入学共通テストに向けて スケジュール確認・Q&A等

2023年度12月13日(水) 文責 第3学年主任 瓜田

●大学入学共通テスト以降のスケジュール

2024年 1/13(土)~1/14(日)
大学入学共通テスト実施

試験日	試験教科・科目	試験時間
1/13 (土)	地理歴史 『世界史A』『世界史B』 『日本史A』『日本史B』 『地理A』『地理B』	2科目選択 9:30~11:40 1科目選択
	公民 『現代社会』『倫理』『政治・経済』 『倫理、政治・経済』	10:40~11:40
	国語 『国語』	13:00~14:20
	外国語 『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	【英語リーディング】 15:10~16:30 【英語リスニング】 17:10~18:10
1/14 (日)	理科① 『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』	9:30~10:30
	数学① 『数学I』『数学I・A』	11:20~12:30
	数学② 『数学II』『数学II・B』 『簿記・会計』『情報関係基礎』	13:50~14:50
	理科② 『物理』『化学』 『生物』『地学』	2科目選択 15:40~17:50 1科目選択 16:50~17:50

※地理歴史、理科②の2科目選択は1科目60分で実施し、解答回収10分を含み、試験時間130分となります。リスニングは試験時間は30分です。

1/13(土)~1/14(日) 正解等の発表

1/15(月) 登校して自己採点

1/17(水) 予定 平均点等の中間発表

面談などで出願校を検討

1/22(月)~2/2(金) 国立大出願

2/5(月) 予定 平均点等の最終発表

大学入学共通テストまであと1ヶ月となりました。日程を確認し、試験当日に向けた準備を始めましょう。交通手段の確認や宿泊先の確保など早めの準備で不安なく全力を出せるようにしましょう。

試験当日の過ごし方も考えておこう

大学入学共通テスト当日は、試験開始までの待ち時間の過ごし方も大切なポイント。参考書やノートなどで最終チェックをする、リラックスして待つなど、どんなふうにご過ごせば自分の実力が最も発揮できるのかを、模試や演習などを利用して確認しておこう。また、昼食時の気持ちの切り替えも重要。

優先順位をつけて問題を解くこと

時間を有効に使うためには、問題を解く順番も大切。解き始める前にすべての設問に目を通し、確実に解ける自信のある設問から解くよう心がけよう。

※左の表で、各教科の試験時間をしっかり押さえておこう。

自己採点を正確にするために

個別学力検査の出願は、大学入学共通テストの自己採点結果をもとに決定することになる。自己採点を正確に行うため、受験中は解答番号を問題冊子に必ず控えておこう。自己採点は試験翌日の1/15(月)実施。

1点も無駄にしないマーク記入ルール

- わからない設問があっても、とにかくすべての設問にマークすること
- 訂正をする際には、跡が残らないよう完全に消しゴムで消すこと
- 1つの設問に2個以上のマークをしていないかを確認すること
- 「記入欄のズレ」などはないか、問題冊子と突き合わせて確認すること

入試に関する Q&A

いよいよ入試本番間近。とは言っても初めての入試には耳慣れない用語や疑問も多いもの。
そこで、入試に関する疑問をQ&A形式で紹介するので、しっかり確認しておこう。

Q. 1

もし事故や病気（インフルエンザや新型コロナウイルスなど）などで受験できなくなったら？

A. 1

事故や病気などのアクシデントが起きた場合は、受験生本人または代理人が、速やかに「受験票」に記載されている「問い合わせ大学」に行き、申請すれば追試験を受けることができる。申請の受付時間、詳しい方法等については、「**受験上の注意 P15～17**」に明記されている。**後日の申請はできないので、アクシデントが起きたらすぐに、「問い合わせ大学」に電話連絡すること。**なお、2024年度大学入学共通テストの追試験は1月27日（土）・28日（日）に実施。
【受験案内 P51】

Q. 2

大学入学共通テストの得点調整とは？

A. 2

大学入学共通テスト後、大学入試センターでは、各教科で選択科目ごとに平均点を算出する。その平均点に原則として20点以上の差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められた場合には、平均点が低い科目を受験した受験生が不利にならないよう、得点差を調整する。なお、2024年度大学入学共通テストの**得点調整実施の有無の発表は1月19日（金）の予定**
【受験案内 P52】または【受験上の注意 P19】

Q. 3

国公立大の出願はいつ行うのか？

A. 3

国公立大の出願は1月22日（月）～2月2日（金）の間に行う（一部例外あり）。Web出願が主流であるが、**青森県立保健大学のように紙での出願の場合は事前に願書を取り寄せておかななくてはならない。受験する可能性のある大学の出願方法を事前にチェックする必要がある。**また、出願校決定には、自己採点結果が唯一の手がかりとなる。確実な出願校決定のためには正確に自己採点することが重要だ。
なお、本校では1月16日（火）から2次対策講習がスタートする。すぐに個別学力試験対策に移行できるようにしっかりと準備をしておこう。

Q. 4

「志願倍率」、「実質倍率」の違いとは？

A. 4

ひと口に倍率といっても「志願倍率」と「実質倍率」の2種類がある。「志願倍率」とは、「志願者数÷募集人員」のことで、志願者とは実際に大学に出願した人のことだ。「志願倍率」では、その大学の人気度がわかる。一方「実質倍率」は、「受験者数÷合格者数」のことで、実際の試験での競争率がわかる数字だ。

出願はしたものの、試験当日までに第1志望校の合格が決まった受験生などは受験しない場合があり、「志願者数と受験者数が違う」といったことが起こる。また、入学辞退者を見込む大学は、募集人員よりも多めに合格者を発表するため「募集人員と合格者数が違う」ということも起こる。このように「志願倍率」と「実質倍率」では数値も意味も異なるので、単に「倍率」といった場合には、どちらの倍率を意味するのか注意が必要だ。

近年は、地方国公立大学でも後期入試で「実質倍率」が1.0倍を下回ることも頻繁に起きている。追加募集や追加合格も珍しくない。最後まであきらめずに受験し続けると合格のチャンスは広がる。

Q. 5

大学は何校まで出願できるか？

A. 5

国公立大一般入試（国際教養大など一部の大学を除く）の場合は、前期・中期・後期の各日程から1つずつ、最大3つの大学・学部への出願が可能だ。また、私立大などは、試験日程が重ならない限り出願に制限はない。第1志望校を中心に、うまくスケジュールを立てて出願校を考えよう。

Q. 6

「二段階選抜」とは？

A. 6

一部の国公立大で行われる選抜方法のこと。個別学力検査の前に大学入学共通テストの成績などにより第一段階選抜が行われ、合格者のみが個別学力検査を受験することができる。志望校が二段階選抜を行うかどうか確認しておこう。

大学入学共通テスト本番に向けての確認事項

【その1】学習面：大学入学共通テストまでにもう一度確認しておこう

- 模試などで、あいまいだった問題を確認しておこう（「解答解説」に線を引いておこう）
- 大学入学共通テストの出題形式に慣れよう（模試や問題集を活用しよう）
- 時間配分の感覚を身につけておこう（時間内に解き終える練習をしよう）
- 地歴公民、理科の受験する順番をあらかじめ決めておこう（「第一解答科目」と「高得点科目」のどちらを合否判定に利用するかは大学によって異なることがあるので要注意。大学の募集要項を確認しよう）
- 自己採点が正確にできるように練習しておこう。**4人に1人は実際の点数と10点ずれているというデータもある。正確な自己採点はベストな出願に不可欠**
- 1科目につき、あと2問ずつは確実に解けるように勉強しよう（1問は2～4点ある）
- 絶対に落とさない科目を決めよう（取れる科目・分野で確実に得点できるように）

【その2】生活面：今のうちから生活リズムを整えよう

- 大学入学共通テスト開始は9：30から。夜型から朝型へ生活習慣を切り替えよう
- 感染症予防の徹底を。うがい、手洗い、手指消毒、換気をこまめに行い、免疫力を落とさない食事を
- 模試前日は睡眠を確保しよう。7時間ほどが目安
- 普段と違う食べ物・飲み物には注意。いつも通りの食事をしよう。朝食をとって脳をベストの状態に
- 受験勉強中に迎える年末・年始。生活リズムを崩さないように気をつけよう。感染症対策もしっかりと
- 本番までは、スマホ・ゲーム・漫画を控えよう。本番に向けて集中力を高めていこう

先輩からのメッセージ ～健康管理は隠れた入試科目～

- 風邪をひいてしまったせいで、失敗した。寒さ対策をしっかりとっておこう。
- 試験中の最大の敵は寝不足・寝坊だった。
- 早寝早起きなど生活リズムを作るのは大事。朝から脳がしっかりと働くようにしよう。
- 時々気分転換を心がけたのがよかった。軽いストレッチなどがおすすめ。



【その3】いよいよ本番：大学入学共通テスト直前・本番で困らないように

- 当日は雨や雪が降るかもしれない。試験会場までどうやって行くのか、交通手段をチェックしておこう
- 持ち物チェックを入念に。試験当日の朝に慌てなくて良いように
- 大学入学共通テストの休憩時間は意外と長い。簡単にチェックできるノートやカードを準備しよう
- 「直前にはこれを確認する」といったバイブルを持つと安心して受験に臨めるぞ

持ち物チェックリスト

～前日と当日の朝の2回は必ずチェックしよう！～

前日	当日	持ち物	前日	当日	持ち物
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受験票・写真票	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	携帯電話・スマートフォン (電源OFFを徹底すること)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受験案内			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	黒鉛筆(H・F・HBいずれか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	眼鏡・コンタクトレンズ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	消しゴム(プラスチック製)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	常備薬
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉛筆削り(電動式を除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨具・防寒具
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	身分証明書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	時計(計時機能だけのもの)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お金・交通費・切符など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ノート・参考書など
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お弁当・飲み物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	マスク(着用義務はありません)
※所持品の取扱いについては【受験上の注意P5,6】または【受験案内P47】に記載。 ※昼食場所に関しては、試験会場の指示に従うことになります。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハンカチ・ティッシュ(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)

【受験対策でがんばっている姿を撮影しました】

試験当日、これまでやってきたことを全部出し切ることに注力できるように、あと1ヶ月必死に頑張りましょう。現役生は直前まで伸びます。今まで培ってきた知識や技能、思考力がこの直前期の演習で点数に結びついてくるからです。平均して50～70点、多い人は100～120点（900点満点中）伸びます。ただし、これは「正しい方法で努力した人」のみです。努力しなかった場合はもちろん、漠然と努力した場合も伸びは期待できません。演習を終えたら、しっかりと解説を聞き、復習をしましょう。**大切なことは「同じ問題をもう一度解いたら〇〇点上乗せできる！」を実現することに限られた時間や力を注ぐことです。**問題を読み違えていたのか、題意の理解が浅かったのか、知識（公式等）が抜けていたからか、計算ミスをしたからか、判断ミスをしたからか・・・など、間違った原因をしっかりと分析し、そこをしっかりと補完しましょう。また、正解していてもたまたま正解していたということが結構多いのがマークテスト。自分の考え方に間違いはなかったかの検証も忘れずに。

かなり昔の話になってしまいますが、私自身、プレテストから本番まで100点以上伸びた経験者です（旧センター試験ですけど）。ほとんどの教科で本番が自己ベストでした。もっとも苦手だった英語で8割取れたときの高揚感は今でも忘れません。1ヶ月間、各教科、大問ごとに目標点を設定して、「演習→分析・復習→知識の補完」を繰り返したことが功を奏しました。

皆さんは、可能性の塊です。磨けば磨くだけ輝きます。自分の伸びしろを信じてがんばりましょう。



文系希望者向け地学特別講習



自習スペースで下校完了時刻ぎりぎりまで受験勉強



なぜこうなるのか3人で議論



黒板を使って問題と向き合う

※1月11日（木）の大学入学共通テスト結団式にて、「持ち物チェックリスト」と試験会場である「弘前大学からの諸注意抜粋版」を配付する予定です。「受験上の注意」の冊子は隅々まで読み、受験票・写真票といっしょに大切に保管しておきましょう。